

「震災問題に関する国際人権セミナー」

日程：6月24日（金）AM9時～11時

場所：衆議院第一議員会館 地下第4会議室

参加者：(国連/震災関係人道担当)

マチルダ・ボグナー(Ms. Matilda Bogner)氏～OHCHR(国連人権高等弁務官事務所)フィジー事務所代表

アジット・スンハイ(Ajith Sunghay)氏～OHCHR(国連人権高等弁務官事務所)ジュネーブ・オフィス人権担当官

国内NGO関係者約40人

プログラム

① 9時～9時20分 避難所生活全般

全労連 井上様

とすねっと代表 森川弁護士

自由法曹団 久保木弁護士

② 9時20分～9時40分 子ども関係

森田明美（東日本大震災子ども支援ネットワーク）

森田明彦様（セーブザチルドレン）

③ 9時40分～10時00分 女性関係

JCN東日本大震災支援全国ネットワークジェンダー・多様性チーム世話人兼ウィメンズネット・こうべ代表
正井様

しんぐるまざーずふぉーらむ 赤石様

④ 10時00分～10時20分 障害者関係

DPI 今村様（震災と障害のある人の状況報告）

全国病者集団 山本真理様（精神障害のある人と震災の関連問題）

⑤ 10時20分～10時40分 放射能問題（法律家の視点から）

菅波先生

□子ども関連

- ・東日本大震災子ども支援ネットワーク事務局長森田明美

参加団体辻雄作・柳本佑加子（NPOサバイバーズジャスティス）、明智カイト（アクエリアス）

- ・セーブザチルドレンジャパン森田明彦

森田明美から東日本大震災子ども支援ネットワークを立ち上げた経過と活動について概略を説明し、6月20日に提出した“復興構想会議第一次提言「復興への提言」案に対する意見”を中心に説明し、参加団体の辻さんからセクシュアル・マイノリティの子どもへの配慮や子どもたちへの支援が行き届いていないことを追加で報告をした。

森田明彦さんからはセーブザチルドレンの子ども支援の現状について、子ども支援の原則を説明され、被災地でこのたび実施された11000人の子ども調査について報告をされた。

それに対してマチルダ・ボグナーさんから「国際基準を総合的にとらえ子どもの最善の利益の実現のための活動と、子どもの声を聞き反映することを意識的にされていることに感謝する。どこにいても計画に参加できない人を含めた反映がされておらず、子どもと一緒に話合いの場に入れるアドボカシーの重要性を一層強く感じた。とくに性的なマイノリティの子どもたちなど見過ごされる立場にある子どもたちにも配慮されている活動があることは重要な活動と思った。

国レベルでも総合的な子どもへの保護政策がないことに対しては、将来に役立つ政策につくりかえて行くようなアドボカシーが必要である」というコメントを受けた。

（事務局長 森田明美 記）